

災害に備えて

町では災害に備えるため、6月5日に菊陽町防災会議を開催しました。町や警察、消防、各関係機関などで構成する委員が、町防災計画に基づく避難場所の確認や住民に避難勧告を出す基準、災害に応じた関係機関の対応などについて話し合いました。その後、熊本地方気象台が梅雨時期の天候予想を、自衛隊が災害派遣活動を説明しました。また、6月2日には菊陽町消防団各分団による危険箇所への水防巡視と、水害に備えた土のう作りを行いました。

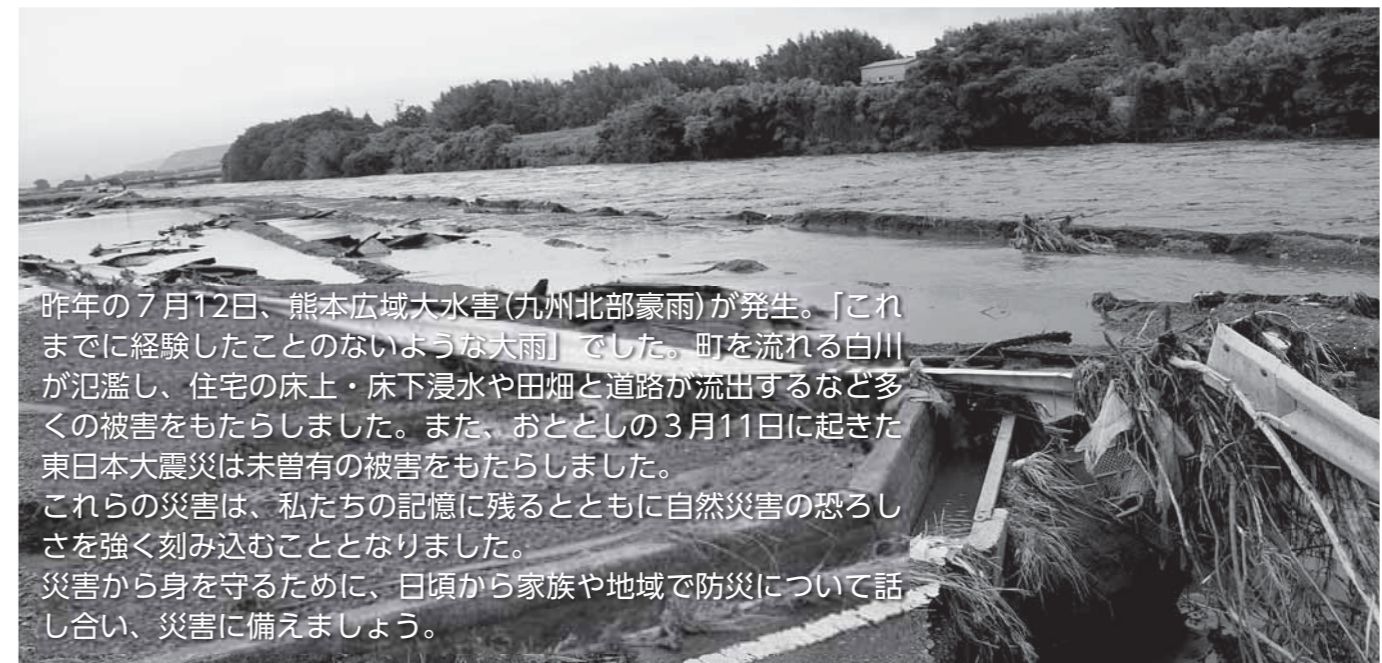
災害は突然予期なく日常生活を脅かします。災害での被害を少なくするためには、皆さん一人一人の心掛けや準備も不可欠です。皆さんの防災に対する意識を高めることは、災害発生時の被害を最小限に抑える最大の効果があります。危険を感じたら早めに避難するなど、日頃から災害に備えましょう。

身を守るための情報収集を

台風や大雨などのときに気象庁から発表される注意報や警報は、各地域の住民の皆さんに注意を呼び掛け、災害による被害

を最小限に食い止めるため発令されます。テレビやラジオなどで伝えられる気象情報で、最新の情報を得るようにしましょう。警報や避難勧告・指示が出された場合、または勧告などが無くても、長雨や大雨などで身の危険を感じたときは、自主的に身近な避難場所へ速やかに避難してください。

特集 豪雨・台風・地震などの災害に備えて



昨年の7月12日、熊本広域大水害(九州北部豪雨)が発生。「これまでに経験したことのないような大雨」でした。町を流れる白川が氾濫し、住宅の床上・床下浸水や田畑と道路が流出するなど多くの被害をもたらしました。また、おととしの3月11日に起きた東日本大震災は未曾有の被害をもたらしました。これらの災害は、私たちの記憶に残るとともに自然災害の恐ろしさを強く刻み込むこととなりました。災害から身を守るために、日頃から家族や地域で防災について話し合い、災害に備えましょう。

**土砂災害警戒情報に注意しましょう**  
土砂災害警戒情報とは、大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告などを発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるように、都道府県と気象庁が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報などが発表されていなくても、斜面の状況には常に注意を払い、普段とは異なる状況(一般に「土砂災害

の前兆現象」といいます)に気がついた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難するとともに、役場などに連絡してください。  
**土砂災害を引き起こす雨量**  
土砂災害の多くは、雨が引き金になって起こります。1時間に20mm以上、または降り始めてから100mm以上の雨量になったら注意しましょう。雨量とは、降った雨水が地面

にしみ込まず、たまった時の深さをミリメートルで表したものです。予報で「1日で100mmの雨量」とは「1日で雨が水深10cmまでたまる」ということです。「たった10cm」と思っても、道路や屋根の上などに10cmたまり、この雨水が河川などに流れ込むと一気に水位が上がり、災害が起こりやすくなります。台風や梅雨末期の大雨では局地的に1日当たり300mmを超える雨が降ることも珍しくありません。

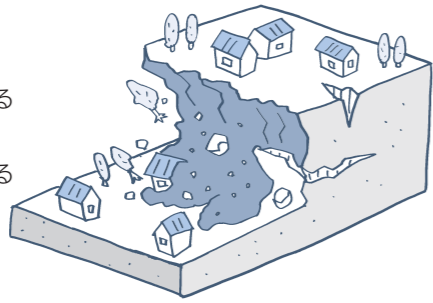


こんな前兆に注意! 迷わず避難を

崖崩れ

長雨や集中豪雨によって、不安定になった斜面が急に崩れ落ちる現象

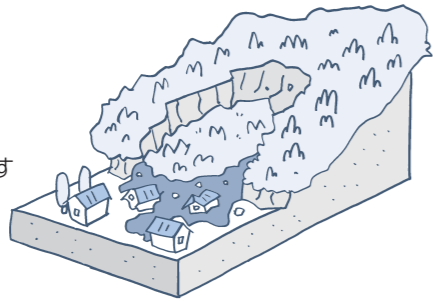
- 前兆現象
- 崖から木が裂ける音がある
  - 崖に亀裂が入る
  - 小石がパラパラ落ちてくる
  - 崖からの水が濁ったり、急に水量が増える



地すべり

地下水などが地面にしみ込んで、その影響で地面がゆっくりと下へ動く現象

- 前兆現象
- 地面にひび割れができる
  - 井戸や沢の水が濁る
  - 崖や斜面から水が噴き出す



九州電力からのお知らせ

■台風時の停電情報をチェック!

台風による停電時には、電話がつながりにくくなることがあります。台風等非常災害時の停電情報は下記のホームページでもご確認ください。

携帯電話版ホームページ  
<http://kyuden.jp>

パソコン版ホームページ  
<http://www.kyuden.co.jp>

■携帯メールサービス

台風による停電時には、ご登録いただいた携帯電話に停電情報をメール配信いたします。詳しくは、上記ホームページをご覧ください。



▲災害に備え訓練をする消防団員

熊本県防災情報メールサービスへの登録を

災害に備え、地震や津波、火山の情報、避難勧告などの災害時に重要な情報をメールでお届けします。

- 登録方法 空メールを送り、届いたメールを開き登録  
entry@anshin.pref.kumamoto.jp
- ※携帯電話からのメールサービスの登録は、二次元バーコードを読み取ってメールを送信してください。
- 利用料金 無料(メール受信のパケット通信料は必要)
- 問い合わせ  
熊本県知事室危機管理防災課 ☎(333)2118



大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報

- 大雨の可能性が高くなる約1日前  
大雨に関する気象情報  
警報・注意報に先立ち発表
- 大雨が始まる半日〜数時間前  
大雨注意報  
警報になる可能性がある場合はその内容を記述  
大雨に関する気象情報  
雨の状況や予想を適宜発表
- 大雨の強さが増す  
大雨警報  
大雨の時期・予想雨量、警戒する事項などを示す
- 大雨が一層激しくなる  
大雨に関する気象情報  
刻一刻と変化する大雨の状況を発表
- 記録的な大雨  
記録的短時間大雨情報  
数年に一度の猛烈な雨が観測された場合に発表
- 被害の拡大が懸念される  
土砂災害警戒情報  
土砂災害の危険度がさらに高まった時に都道府県と気象台が共同で発表

明るいうちからの予防的避難

夜、暗くなつてからの避難は危険が伴います。普段歩き慣れた道でも、道路と田んぼの境界が分からなくなつていたり、側溝やマンホールのふたが水で流れて、落とし穴のようになつていたりする場合があります。また、夜間の豪雨・落雷の中、車で移動することは十分な視界が得られず大変危険です。台風の接近が予想される場合や水害による浸水、土砂崩れなど、被災の恐れのある場合は、なるべく明るいうちに避難所や安全な場所に避難しましょう。

家族で確認！災害時の5カ条

- 1 雨や風が強いときは、むやみに外に出ない。川や水路、屋根など危険なところに近づかない。
- 2 テレビやラジオ、☎177で気象庁の情報を確認する。
- 3 河川などが増水している時は、風呂や洗濯の排水は控える。
- 4 家族と連絡を取り合い、防災ハザードマップで避難場所を確認する。
- 5 いつでも避難できるように、非常持ち出し品などを1カ所にまとめておく。

南海トラフ地震が起きたら

国の「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」が昨年の8月29日に発表した人的被害と建物被害の最悪のケースによると、県内の死者は20人で負傷者数は約400人、建物崩壊は3,200棟、菊陽町の最大震度は「5強」と想定されました。5強は大半の人が物につかまらなさと歩くことが難しくなり、屋内では「固定していない」家具が倒れ、食器や本が落ちて散乱する被害が比較的多くなります。

さらに、3月18日、施設の被害などを推計した第2次報告による最大被害想定によると、県内の断水人口は最悪8万3,000人に及び、下水道の支障が1万5,000人、停電が300軒と発表されました。

この最大被害想定は最新の科学的知見に基づくもので、発生頻度が極めて低い最大クラスの地震が発生した場合の被害です。十分な防災対策をし、災害に備えれば、被害は確実に減ります。突然襲ってくる地震にも、決して慌てず、まず自分の身の安全を確保し、落ち着いて行動しましょう。

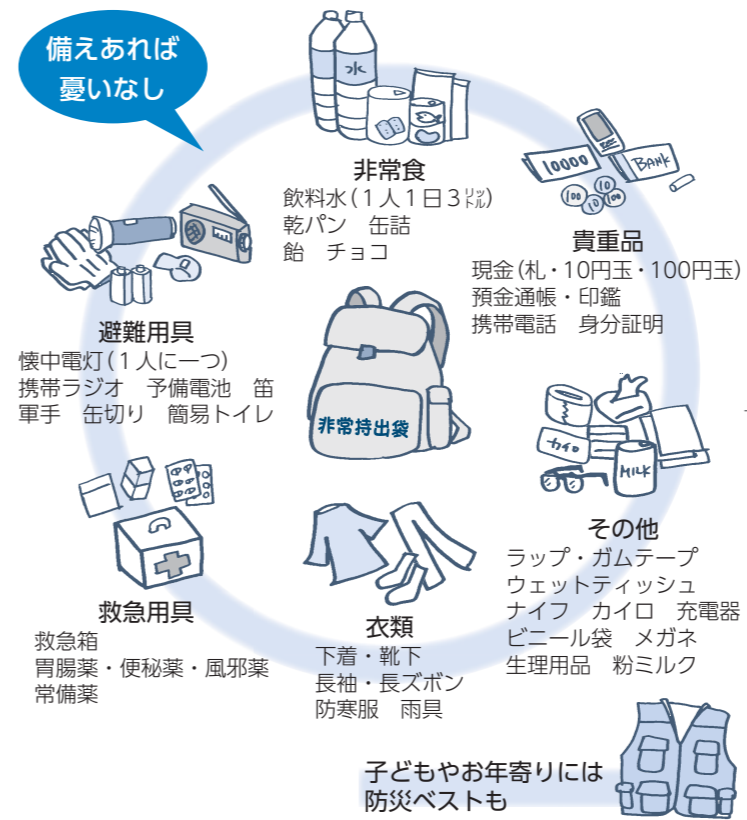
日頃から防災意識を

災害はいつ起こるか分かりません。就寝時に災害が起こったら。停電で暗い中を歩くことは危険です。足下に散乱したガラスなどを踏み、けがをするかもしれません。想定外で慌てないために枕元に靴・軍手・ヘルメット・懐中電灯などを常に置いて、身の安全を守りましょう。自分の命は自分で守らずして、誰かが守ってくれることはありません。災害に備えて、自分や家族に何が必要か考え用意すべきものがあります。

非常持ち出し品と非常備蓄品

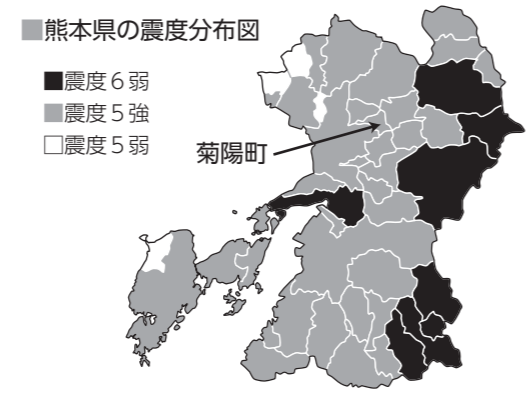
非常持ち出し品は避難時に持ち出す最低限の備えで、非常備蓄品は避難後安全を確認した後、避難生活のために持ち出す物です。

例えば、水は最低でも一人につき1日3日の備えが必要といわれます。持ち出し品は必要最低限に絞り込み、一度背負ってみましょう。備蓄品は水や食料、生活用品などを家族構成に合わせて用意し、すぐに取り出せる場所に置きましょう。



被害を減らすために

1 耐震診断と耐震改修  
木造住宅の耐震化に向けて、昭和56年5月31日以前に着工さ



れた戸建て木造住宅と緊急輸送道路沿道の建築物に要した耐震診断と耐震改修(戸建て木造住宅のみ)の費用の一部を補助(予算枠の範囲内)します。

■ 問い合わせ  
都市計画課 ☎(232)4927

2 災害時要援護者の避難支援  
災害時に家族などから支援を受けることが困難な自宅を暮らしている高齢者や障がい者などが安心して暮らすことのできるように、情報を登録し、地域で支え合うものです。

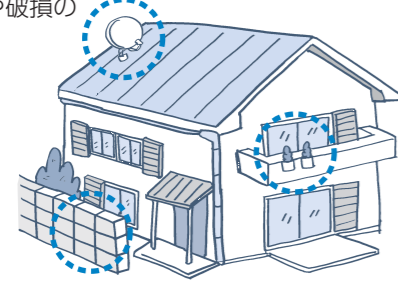
■ 問い合わせ  
福祉課 ☎(232)4913  
介護保険課 ☎(232)2366

今、すべき！わが家の地震対策

- 1 屋内での地震対策
- ・寝室や子ども、高齢者のいる部屋には家具は置かない
  - ・家具の転倒や落下防止対策をする
  - ・出入り口や通路には物は置かない



- 2 屋外での地震対策
- ・アンテナの固定と屋根瓦の補強
  - ・鉢植えや物干しの固定
  - ・ひび割れや破損の修理



INTERVIEW



菊池広域連合 南消防署 桐原 一行 署長

防災知識を身につけ判断力を養い、地域の防災力を高めることが大切

一人一人の防災意識の向上  
近年、九州豪雨災害や東日本大震災など大規模な災害が続いて発生しています。広範囲な災害の場合、消防車両が、必ずしもすぐ動けるとは限りません。いざという時に落ち着いて行動するためには、災害を想定して家族や地域で話し合い、防災の知識を高め判断力を養うことが重要です。日頃から非常持ち出し品を準備し、家の家具と家電製品などの転倒防止やガラスの飛散防止、耐震診断・耐震補強など、災害への備えをすることが大切な命や幸せを守ることにつながります。

地域の絆  
人は災害のときパニックになるため、万が一のときに体が動くように繰り返し訓練しておく必要があります。昨年の九州豪雨災害でも区長の指示で自主避難した地区がありました。地域の絆が強い地域は災害に強いといえます。日頃からの地域での訓練と、災害時は避難場所で逃げ遅れがないか確認し、助けにいくという「共助」が大切なのです。私たち消防も応急手当の方法、防災の知識、避難の方法など、いつでも指導・講習に伺いますのでぜひ活用して地域の防災力を高めてください。

■ 問い合わせ 総務課 交通防災係 ☎(232)2111

災害時の問い合わせ

| 機関名           | 連絡先(緊急)         | 内容            | 機関名         | 連絡先(緊急)       | 内容                                       |
|---------------|-----------------|---------------|-------------|---------------|--|
| 菊陽町役場         | ☎(232)2111      | 災害の状況、復旧など    | 大菊土地改良区     | ☎(293)6851    | 農地・農業用施設の被害状況、復旧に関する事                    |
| 大津警察署         | ☎(294)0110(110) | 治安、交通など       | 馬場楠塚土地改良区   | ☎(374)8188    |  |
| 菊池広域連合南消防署    | ☎(232)9331(119) | 負傷者の救急、緊急搬送など | 九州電力大津営業所   | ☎0120(986)602 | 電力供給など<br>※地区ごとに管轄が違います。事前に確認してください。     |
| 菊池広域連合泉ヶ丘消防署  | ☎(248)4731      |               | 九州電力熊本西営業所  | ☎0120(986)603 |  |
| 大津菊陽水道企業団     | ☎(293)7711      | 水道被害に関する事     | 西部ガス株式会社    | ☎(370)8600    | ガス供給など<br>※加入しているガス・プロパンガス会社へお問い合わせください。 |
| N T T 西日本熊本支店 | ☎(321)3083(113) | 電話に関する事       | 菊陽町プロパンガス組合 | ☎(232)2200    |  |

菊陽町防災ハザードマップ

～「もしも」のためにあなたとあなたの大切な人を守る～

町では「菊陽町防災ハザードマップ」を作成し、各家庭に配布しています。防災マップには、避難場所や危険区域、緊急連絡先が記載されています。町ホームページでもご覧いただけます。

